



〒108-0071
港区白金台
3-7-1
(3443) 5666



<http://shirokanedai-kg.minato-tky.ed.jp/>



4・5歳児、新しい友達との「なかよしタイム」ダンスを踊って、どうぞ、よろしく！



みんなの池
オタマジャクシやメダカがいます

知りたいという好奇心

園長 新井智子

新緑が陽の光に映える季節を迎えました。4月当初、不安や緊張いっぱい表情だった新入園児は、担任の先生を覚え、年長組の「お迎えタクシー」や優しいお世話もあって、園内で落ち着いて過ごせるようになってきました。先生や友達と一緒に、歌を歌ったり、保育室前の専用砂場で遊んだり、幼稚園での遊びの楽しさを少しずつ感じてきているようです。

さて、森と呼んでいる園庭では、子どもたちの活気ある遊びが広がっています。進級した4・5歳の子どもたちは、「使い勝手を知っている場所」として、みんなの池のオタマジャクシを見に行ったり、泥ダンゴに適した土探しに夢中になったりしています。昨年度の経験から、そろそろダンゴ虫がいるのではないかと、石を持ち上げて探したり、斜面に段ボールを持ちこんで滑って遊んだりしています。その遊びの中で、子どもたちの会話に出てくる言葉の多くは、「どこにあるの?」「これ、なんだろう?」「どうしてこうなったの?」と疑問符があるものです。特に今の時期の自然の変化は、日々、子どもたちの好奇心を揺さぶっていきます。

昨年度ノーベル生理学・医学賞を受賞した本庶佑氏の、研究への原動力は、小さいころからの「知りたいという好奇心」だったと言います。また、本庶氏が、長い時間をかけ研究を実証する取り組みのために必要だった6つのCについても触れていました。それは、challenge(挑戦) courage(勇気) confidence(自信) concentration(集中力) curiosity(好奇心) continuation(継続性) だそうです。

本園は、昨年度から「主体的に環境に関わり、開拓しながら友達と一緒に豊かな遊びをつくる子ども」の育成を目指して研究を進めています。まさに6つのCは、幼稚園で豊かに遊びをつくり出す子どもたちに必要なものではないでしょうか。

この時期、森の自然にたっぷりに関わり、「知りたいという好奇心」が溢れる教育活動を展開できるよう取り組んでまいります。

<今月の指導のねらい>

3歳児

- 喜んで登園し、教師や周りの友達に親しみを感じながら、自分のしたい遊びを見つけて遊ぶ。
- ダンスや簡単な集団遊びをして、学級のみんなと一緒にすることの楽しさを味わう。
- 幼稚園での生活の仕方を知り、教師と一緒に身の回りのことを自分なりにやってみようとする。

4歳児

- 自分の身の回りの始末の仕方や生活に必要なことが分かり、自分から取り組もうとする。
- 好きな遊びの中で、自分の思いやイメージを言葉や動きで表しながら、友達と遊ぶことを楽しむ。
- 友達や教師と触れ合いながら、戸外で過ごす心地よさや体を動かして遊ぶ楽しさを感じる。

5歳児

- 一緒に遊ぶ友達と自分の思いや考えを伝え合いながら、遊びを進めていこうとする。
- 大型積み木や巧技台等の新しい遊具の扱いに慣れて、友達と一緒に場づくりをしたり、遊びを楽しんだりする。
- 心地のよい気候の中で、思い切り体を動かして遊んだり、栽培物を育て生長の様子を知らせ合ったりする。



